

広報

きたかた

Kitakata Public Relation

4月号
2021
No.184



目次 — contents —

ひとづくり・交流拠点複合施設
(仮称)の愛称を募集します … ②

令和3年度予算の概要 … ④

冬眠明けのクマに注意 … ⑧

きたかたフォトニュース … ⑭

情報ステーション … ⑯



※ 屋内子ども遊び場内観イメージ

ひとづくり・交流拠点複合施設（仮称）の

愛称を募集します



市民をはじめ、多くの利用者に愛着と親しみを持ってもらえる施設となるよう愛称を募集します。

募集期限：4月30日（金）

募集する愛称

部門1：施設全体の愛称
部門2：屋内子ども遊び場の愛称

応募条件

- ・施設の内容がイメージされるものや、覚えやすく、親しみやすいもの
- ・応募者自身が創作した未発表のもので、他の著作物などを使用または真似していないもの
- ※採用された方には、賞状および副賞（各部門1点3万円相当）を贈ります。

応募方法

・原則として、指定の応募用紙で応募してください。応募用紙は、窓口で直接受け取るか、市ホームページからダウンロードしてください。

詳しくは、市ホームページ「ひとづくり・交流拠点複合施設（仮称）愛称・ロゴマーク募集要項」をご覧ください。



問申 こども課 複合施設開設準備室

☎（24）5295 または各総合支所住民課

募集部門 1 施設全体の愛称

第1期施設 (令和4年度オープン)

●屋内子ども遊び場

・多様な遊具を設置し、子どもたちが年齢に応じたゾーンで、年間を通しておもいっきり遊ぶことのできる屋内遊び場です。

●子育て支援・子どもの生活学習支援ルーム

・未就学児とその保護者が気軽に集える場として、子育て世代の相互交流の場や子育て情報の提供、相談などを行います。
・ファミリーサポート機能により仕事と子育ての両立支援を行います。
・子どもの基本的な生活や学習の支援を行います。



●看護・介護福祉人材養成室

・地域医療の充実を図るため、喜多方医師会との連携により准看護師の養成、確保に向けた取り組みを行います。
・地域包括ケアシステム構築に向け、関係機関との連携により介護人材の養成を行います。



+

本施設は、「笑顔で未来の夢を育む "わくわく" 子育て・学び・交流ゾーン」をコンセプトに、みんなで育む安心の子育てエリア、みんなが学び・チャレンジできるひとづくり・交流拠点を整備します。

第2期施設 (令和7年度完成予定)

●図書館

・教養を高め豊かなところを育む場、多様な情報の集積・発信地としての利便性の高い図書館をつくれます。
・郷土の魅力を発見し、地域文化の継承や文化の創造を高める場をつくれます。
・学生などが集中して自習できる学習スペースをつくれます。



●交流創出・活動支援施設

・多目的ホールや会議室などを整備し、市民や各種団体などが快適で気軽に利用できる場をつくれます。
・あらゆる世代の活動と交流を推進します。



多様な連携・交流が生まれる場を創出します

募集部門 2 屋内子ども遊び場の愛称

屋内子ども遊び場は、「子どもの健康と想像力を養う "わくわく" する遊び場」をコンセプトに、一年中、親子の笑顔と笑い声が飛び交う子育て支援のシンボル施設として整備します。

この施設は3層吹き抜けの大空間で、冬場でも思いっきり遊べる施設です。

- ・下が見えるスリル満点のネット遊具
- ・探検気分を味わえる床下迷路
- ・清潔な屋内砂場
- ・元気にかけっこができるランニングサークル
- ・三輪車遊びができる屋外サーキットほか



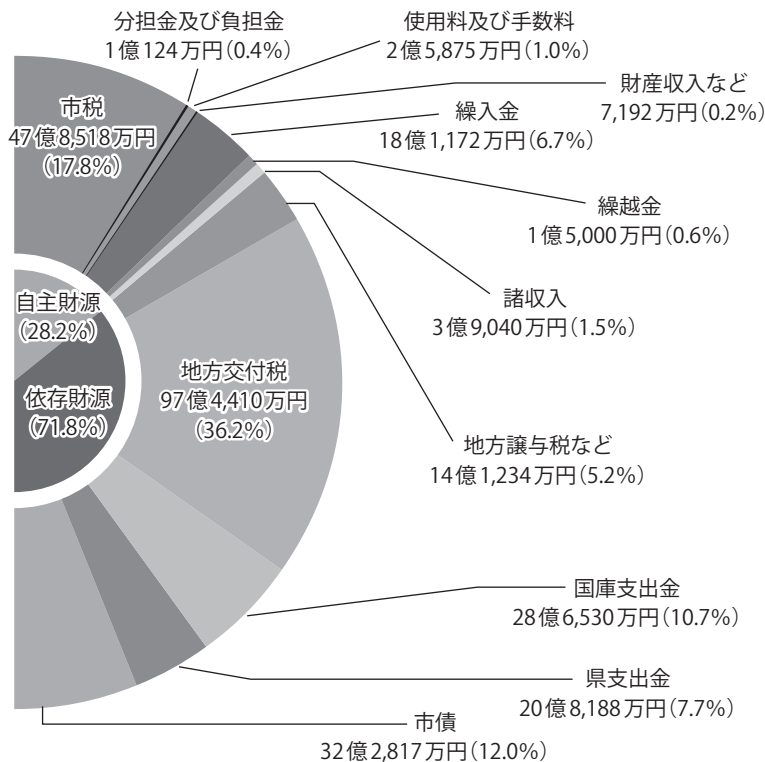
予算の概要

令和3年度予算は、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策への対応とともに、「喜多方市総合計画 きたかた活力推進プラン」に基づき、夢と希望が持てる「ふるさと喜多方」「わくわくする喜多方」の創造に向けたまちづくりを着実に推進していくための所要額を計上しました。一般会計当初予算の総額は、269億100万円です。令和2年度当初予算と比較して14億1800万円の増となりました。

「一般会計」の予算は269億100万円

が使われます (令和3年2月1日現在の現住人口4万5,610人で算出)

歳入



特別会計予算

(単位:万円)

区 分	予算額
国民健康保険事業特別会計	52億4,881
後期高齢者医療事業特別会計	5億6,348
介護保険事業特別会計	57億7,614
公有林整備事業特別会計	561
工業団地造成事業特別会計	1億5,119
都市計画事業塩川駅西土地区画整理事業特別会計	1,378
駒形財産区特別会計	1,346
一ノ木財産区特別会計	3,740
早稲谷財産区特別会計	1,450

一般会計当初予算の概要

歳入 市民税は、新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を見込み、個人市民税・法人市民税ともに減収が見込まれます。固定資産税においては、地価の下落が続いている状況に加え、評価替えの年となるため家屋分の減少が見込まれるなど、市税全体としては減収となる見込みです。

各交付金は、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金が創設されることから、全体として増額となる見込みです。

地方交付税は、普通交付税で合併算定替による算定額の特例措置の段階的縮減の終了により令和3年度から一本算定となるものの、国の地方財政計画が増額となり増額が見込まれます。一方で、震災復興特別交付税で駒形第三地区県営復興再生基盤整備事業の完了によって減額が見込まれ、全体的に減額となる見込みです。

予算編成の要点

人口減少・少子高齢化という大きな課題に対し、将来にわたり活力ある持続可能な地域社会の維持を図るため、第2期総合戦略に位置付けられた各事業および施策の柱に基づき社会経済情勢の変化や多様化する住民ニーズに対応するための「わくわく喜多方推進事業」に係る経費を計上しました。

また、財政調整基金、減債基金からの繰入金で収支の調整を図りました。子ども(18歳以下)医療費の無料化、インフルエンザ予防ワクチンなどの接種費の助成など、少子化や予防医療に係る扶助費や委託料の所要額を計上しました。

多面的機能支払交付金などの農業施設の保全や維持管理に対する支援経費、ものづくり企業等経営基盤強化支援事業などの産業の振興と雇用機会の拡大を図るための経費および地域活性化を図るための観光振興の

水道事業会計予算

●収益的収入及び支出〔損益勘定〕(単位：万円)

《収入》		《支出》	
区 分	予算額	区 分	予算額
営 業 収 益	10億756	営 業 費 用	11億1,535
営業外収益	2億3	営 業 外 費 用	6,387
特 別 利 益	1	特 別 損 失	220
		予 備 費	100
計	12億760	計	11億8,242

●資本的収入及び支出〔資本勘定〕(単位：万円)

《収入》		《支出》	
区 分	予算額	区 分	予算額
出 資 金	6,762	建 設 改 良 費	3億5,431
補 助 金	3,400	固定資産購入費	307
負 担 金	5,275	企業債償還金	1億6,192
繰 入 金	24	予 備 費	300
計	1億5,461	計	5億2,230

※財源不足額3億6,769万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額などで補てんします。

●業務の予定量

- ・給水件数 17,380 件
- ・年間総給水量 4,909,360 m³
- ・1日平均給水量 13,450 m³

下水道事業会計予算

●収益的収入及び支出〔損益勘定〕(単位：万円)

《収入》		《支出》	
区 分	予算額	区 分	予算額
営 業 収 益	2億9,018	営 業 費 用	11億479
営業外収益	9億8,142	営 業 外 費 用	1億2,438
特 別 利 益	1	特 別 損 失	60
計	12億7,161	予 備 費	10
		計	12億2,987

●資本的収入及び支出〔資本勘定〕(単位：万円)

《収入》		《支出》	
区 分	予算額	区 分	予算額
企 業 債	3億7,520	建 設 改 良 費	6億5,424
出 資 金	3億640	企業債償還金	6億4,170
補 助 金	2億3,800	予 備 費	10
負担金及び分 担 金	2,258	計	12億9,604
計	9億4,218		

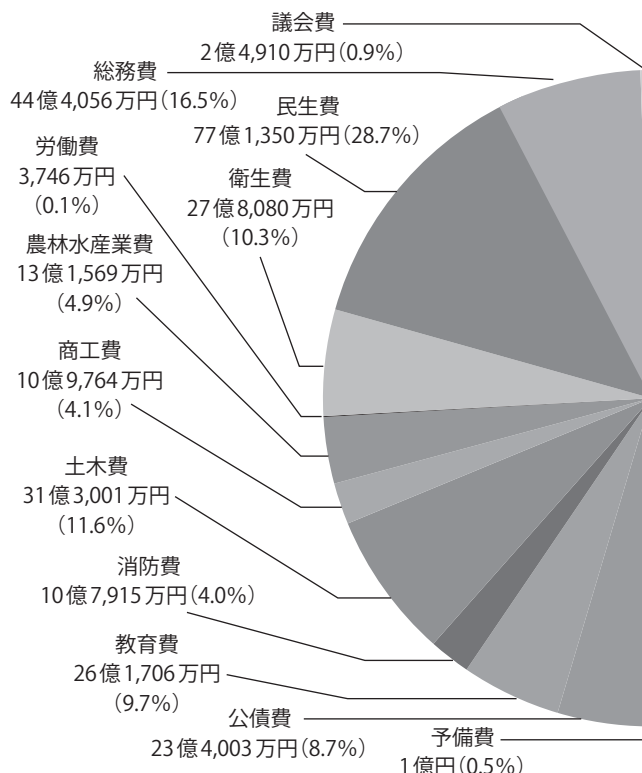
※財源不足額3億5,386万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額などで補てんします。

●業務の予定量

- ・接続件数 6,580 件
- ・年間総処理水量 1,676,624 m³
- ・1日平均処理水量 4,581 m³

皆さんの暮らしに身近な

市民一人当たり58万9,805円



歳出

また、国庫支出金は、子ども・子育て支援制度に係る施設型給付費等負担金、認可保育所・小規模保育施設の施設に係る保育所等整備交付金などが増額となることから、全体的に増額となる見込みです。

市債は、ひとつくり・交流拠点複合施設整備事業、災害情報連携システム再構築事業などの大規模事業への活用を見込み、増額となる見込みです。

推進に係る所要額を計上しました。

主な建設事業として、ひとつくり・交流拠点複合施設建築工事、災害情報連携システム再構築事業、豊川・慶徳線道路整備事業、橋梁長寿命化整備事業、坂井・四ツ谷線街路整備事業など所要額を計上しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、介護サービスなどの利用におけるPCR検査助成事業など、感染防止に関する事業、新型コロナウイルス対策特別資金利子補給事業など経済対策に関する事業、および新しい生活様式対応設備投資等支援事業など新しい生活様式に関する事業に所要額を計上しました。

問 財政課 財政係 ☎(24)5213

重要項目 3 地域を育む (交流人口の拡大、安全安心の暮らしづくりなど)

新 木質バイオマス導入促進補助金 ----- 200万円

再生可能エネルギーの導入促進を図るため、市内温泉施設への木質バイオマスボイラ導入を支援

わくわく



▲協働のまちづくり推進
こまがた元気会活動の様子

豊川・慶徳線道路整備事業 ----- 4億5,992万円

地域間の交通機能向上と市内交通ネットワークの充実を図るため、外環状道路に位置付けられている路線を整備

わくわく

ホストタウン交流事業 ----- 2,216万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした米国ボート協会とのスポーツ交流やウィルソンビル市との姉妹都市交流事業を実施

わくわく

協働のまちづくり推進事業 ----- 2,135万円

協働のまちづくりの推進のため、行政区などが自分たちの住む地域の課題解決のために行う取り組みに係る経費を補助

わくわく



▲三ノ倉高原花畑

文化と芸術のかおり高いまちづくり推進事業(将棋普及事業) --- 296万円

将棋文化への興味・関心を高め、将棋を通じた交流によりさらなる普及・発展を図るため、「将棋まつり」や「こども将棋教室」などを開催

わくわく

空き家対策事業 ----- 1,282万円

空き家対策推進のため、空き家データベースの充実や、老朽化が著しい空き家の解体撤去、空き家の改修などに係る費用を支援

わくわく

戦略

三ノ倉高原花畑事業 ----- 3,169万円

新しい人の流れをつくり、地場産業の振興および雇用創出のため、スキーシーズン以外の三ノ倉スキー場ゲレンデを利用した花畑づくり、誘客イベントなどを実施

戦略



▲日中線しだれ桜

多世代同居住宅取得支援事業補助金 ----- 1,020万円

持続性ある地域コミュニティを構築するため、多世代が同居する住宅を取得する方に対して補助金を支給

戦略

日中線しだれ桜並木誘客促進事業(ライトアップ業務委託) ---- 286万円

賑わい創出、地域経済活性化のため、日中線しだれ桜並木の見頃の時期に一部区間のライトアップを実施

その他

市民サポーティング事業 ----- 2,271万円

市民からの意見や要望などに関して、市民と行政が共に考え、市政への反映を図る取り組みとして、未利用果樹等伐採事業補助金、消防施設の改修工事などの事業を実施

わくわく

合葬式施設建設事業 ----- 3,000万円

上ノ山墓地公園への合葬式施設の建設

介護サービス等利用におけるPCR検査助成事業 ---- 1,848万円

新型コロナウイルス感染症の感染防止として、新たに介護サービス等を利用する65歳以上の高齢者などでPCR検査を希望する方の検査を委託

地域学校協働活動事業 ----- 313万円

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と学校の連携・協働の体制整備を推進するためのコーディネーターを配置

新 令和3年度から新たに
行う事業

わくわく わくわく喜多方推進事業として
重点的に実施する事業

戦略 喜多方市総合戦略に基づき
実施する事業

重要項目 1 産業を育む (働く方への支援や雇用の創出など)

新 「コロナに負けない！」新しい喜多方観光・物産PR事業 ---- 223万円

ポストコロナ社会を見据えた、新しい観光・物産振興を図るため、首都圏などのイベントスペースなどで本市観光・物産PRを行う「新しい生活様式を取り入れた物産展」の開催・実証

わくわく



▲ 観光・物産のPR 物産展

新 「もっと美味しい喜多方」プロジェクト事業 ----- 60万円

農林畜産物の生産から流通、加工、販売、提供に関わるさまざまな業種が連携した仕組みづくりを行いながら、研修会やメニュー開発、試食会などを実施

わくわく

農畜産物ブランド化・販路拡大推進事業 ----- 681万円

本市産農畜産物の販売・消費の拡大を図るため、首都圏等でのトップセールスや販売イベントを開催

わくわく

喜多方綾金工業団地PR推進事業 ----- 490万円

企業誘致による安定した雇用の創出を図るため、首都圏などの企業に対し喜多方綾金工業団地のPRと企業誘致活動を強化

わくわく

あきない力向上支援事業 ----- 330万円

商工業の振興を図るため、販売力や集客力、店舗の魅力など小規模事業者が「あきない力」の向上を目的に実施する事業を支援

わくわく

産地生産基盤パワーアップ事業 ----- 1,986万円

農業者の負担軽減と経営安定化のため、パイプハウスやかん水設備の整備などの園芸作物の施設化を支援

戦略

きたかたの“農”を支える担い手支援事業 ----- 400万円 (農業系バイオマス利活用生産実証支援)

本市農業を支える担い手の育成・確保を図るため、もみ殻などの農業系バイオマスを活用した農業生産実証に必要な設備の導入を支援

戦略

移転企業等操業支援事業 ----- 350万円

本市における操業を促進し、安定した雇用創出のため、市外から市内に移転する企業などに対し、移転・設備投資に係る経費を支援

戦略



▲ 新規就農者 園芸作物栽培



▲ 綾金工業団地

重要項目 2 人を育む (子育て・教育への支援、福祉・医療の充実など)

新 高齢者おでかけ助成事業 ----- 891万円

高齢者の日常生活の移動手段を支援するため、予約型乗合交通およびまちなか循環線の運賃・料金について助成

わくわく

ひとつくり・交流拠点複合施設整備事業(工事・開館準備) ---- 8億9,839万円

屋内子ども遊び場や、将来を担う看護・介護人材の育成拠点施設を整備

わくわく

小・中学校学校給食費負担軽減事業 ----- 8,331万円

子育て世代の経済的な負担軽減を図るため、学校給食費に要する経費を補助

わくわく

小中学校ICT教育推進事業 ----- 6,317万円

学習効率を向上させるため、児童・生徒などへタブレット端末などを配置

戦略

看護職就学・就労支援事業 ----- 242万円

喜多方准看護高等専修学校に入学した方および卒業後に市内医療機関等へ就職し、3年以上継続して勤務した方へ支援金を給付

戦略

喜多方っ子の「夢」実現事業 ----- 80万円

将来の夢を実現するための力を育成するため、各界の第一線で活躍する「本物」を招へいし、講演会・トークイベントを開催

戦略



▲ タブレット端末を使用した授業の様子



▲ 地元食材をふんだんに使用した学校給食



冬眠明けの クマに**注意**

春はクマが冬眠から目覚めて活動を始める時期です。山に入るときや、朝晩のうす暗い時間帯での農作業の際は特に注意してください。

クマの被害に遭わないために

✓ クマが出没したことがある場所には近づかない

✓ クマ鈴、ラジオなどの大きな音が出るものを身につける

✓ 天気が悪い日は、クマが活発に活動するので、注意する

✓ 子グマを見かけたら、静かに立ち去る

✓ クマのフンや足跡を見つけたら、引き返す

✓ やぶや林など周囲が見渡せない場所には不用意に立ち入らない

✓ 生ごみや農作物などの残さは、クマを呼び寄せるので放置しない

鳥獣被害

を防ぐために

集落に引き寄せない

クマやイノシシ、サルなど

による農作物

被害を防ぐた

めには、鳥獣の

エサとなるも

の(例…タケノコ、未収穫果

樹、農作物など)の適切な管

理が大切です。

エサとなるものを無くし

たり、可能な限り少なくし

たりすることができれば、

鳥獣が集落に出没する頻度

は減少していきます。

一人一人が協力して鳥獣

のエサとなるものを適切に



市は、「鳥

獣対策専門

員」として、

専門的知識・

技術を持つ

た人員を配

置しています。

被害対策技術の周知、電

気柵を導入する際の効果的

な導入方法の助言などを行

っていますので、気軽に相

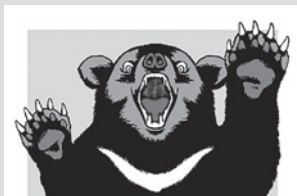
談してください。



専門員による対策の支援

管理し、鳥獣が出没しにくい集落を作っていきますよう。

クマなど有害鳥獣の目撃
や痕跡を見つけた場合は、
情報提供をお願いします。



熊出没 注意

☎ 市民生活課 ☎ (24) 5261
または各総合支所住民課

犬の登録および 狂犬病予防定期集合注射

犬の飼い主の方は、狂犬病予防法により、生後91日以上の子犬に対して、生涯1回の犬の登録と毎年1回の狂犬病予防注射を受けさせる義務があります。

《日 程》狂犬病予防注射、登録の手続きはいずれの会場でも受けることができます。

地区	日にち	時間	場所
喜多方	4月15日(木)	午前11時～11時30分	上三宮遊樹館前
		午後1時30分～2時30分	岩月交遊館前
		午後3時～4時30分	熊倉公民館前
	19日(月)	午後3時～4時	松山公民館前
		午後4時20分～4時40分	桜ガ丘福祉会館前
	20日(火)	午前9時～10時	関柴公民館前
		午前10時30分～11時30分	旧喜多方市教育委員会車庫前
		午後1時30分～2時	慶徳ふれあい館前
	22日(木)	午後1時30分～2時30分	豊川公民館前
		午後3時～4時30分	喜多方プラザ北側駐車場内
熱塩加納	4月15日(木)	午前9時～10時30分	熱塩加納総合支所除雪センター前
	20日(火)	午後2時30分～3時30分	

地区	日にち	時間	場所
塩川	4月19日(月)	午前9時～9時30分	堂島地区公民館前
		午前10時～10時30分	姥堂地区公民館前
		午前11時～11時30分	駒形地区公民館前
		午後1時～2時	塩川総合支所前
山都	4月21日(水)	午前9時～9時30分	堰沢会館前
		午前9時50分～10時10分	舟引会館前
		午前10時30分～10時50分	相川会館前
		午前11時10分～11時30分	一ノ木会館前
		午後1時～1時30分	上林会館前
		午後2時～3時	山都保健センター前
高郷	4月22日(木)	午前9時～9時45分	高郷総合支所前
		午前10時10分～10時30分	高郷公民館前
		午前10時50分～11時10分	旧福島商店前(大谷)

《留意事項》

犬の健康が良くないときや日時の都合がつかないときには、獣医師(動物病院など)で診察と注射を受けてください。

⇒注射を受けたときは獣医師より「狂犬病予防注射済証明書」の交付を受けて下記事務担当に提出し、狂犬病予防注射済票(手数料550円)の交付を受けてください。

犬の死亡、転出、所有者変更の場合は事務担当まで連絡してください。

《料 金》※料金は、釣銭のないようご協力をお願いします。

狂犬病予防注射料金2,700円+狂犬病予防注射済票交付手数料550円=計3,250円

畜犬登録手数料3,000円(※未登録の場合のみ)

問 申 市民生活課 ☎(24)5261 または各総合支所住民課

風しんの予防接種を受けましょう

風しんは、風しんウイルスによつて起こる急性の発疹性感染症です。風しんへの免疫がない集団においては、1人の患者から5〜7人にうつす強い感染力を有します。

麻しん(はしか)より軽く済むことから「三日はしか」と呼ばれることもありましたが、麻しんとは別の感染症です。

免疫のない女性が、妊娠20週頃まで(特に妊娠初期)に風しんにかかる、胎児に感染して、聴覚・視覚・心臓・発達などに障がいを起こすことがあります(先天性風しん症候群)。

◆潜伏期間…2〜3週間(平均16〜18日)

◆主な症状…発熱、発疹、リンパ節の腫れなど

◆感染経路…飛沫感染(発疹の出る1週間前から発疹が出た後1週間程度の患者に感染力があると考えられています)

※現在では成人に多い感染症で、特に10代後半〜50代前半の男性、10代後半〜30代前半の女性が多く発病しています。

◆予防接種について…風しんの予防接種は、麻しん(はしか)と一緒に予防できる麻しん風しん混合ワクチン(MR)で受けることをお勧めします。

小児期における予防接種は、1歳児(第1期)と、小学校就学前1年間(第2期)に、麻しん風しん混合ワクチンの定期接種を受けましょう。

昭和54年4月2日〜平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、特に昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種の機会がありませんでした。家族や大切な人への感染を防ぐため、予防接種を受けましょう。

風しん対策助成事業

◆対象者

①妊娠を予定または希望している女性

②右①の夫および妊婦の夫(入籍前可)

◆助成内容

①風しん抗体検査…自己負担額1000円を差し引いた額を助成

②抗体検査結果(予防接種推奨基準となった場合)により風しん、または麻しん風しん混合ワクチン予防接種…自己負担額1000円を差し引いた額を助成

◆助成方法

実施後に、申請書を提出することで償還します。

風しんの追加的対策事業

昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性(子どもの頃に定期接種の機会がなかった世代)に対して、風しんの抗体検査および風しん予防接種を平成31年

度〜令和3年度までの3年間に「風しんの追加的対策」として実施しており、今年度が実施最終年度となります。

◆対象者

①風しん抗体検査…昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性

②風しん予防接種…風しん抗体検査を受検した結果、抗体価が基準に満たない方

※対象者には、順次令和2年の4月までに個別に案内通知(クーポン券)を郵送済です。

◆実施期限

①風しん抗体検査…令和4年2月28日

②風しん予防接種…令和4年3月31日

◆実施方法

職場の健診、市の集団および施設健診、各医療機関(要予約)で、クーポン券を使用して受検してください。

◆費用

クーポン券使用で抗体検査・予防接種ともに無料。
※クーポン券再発行については問い合わせください。

問 保健課 健康推進室

☎(24)5223

空き家に関する 支援制度を紹介します



空き家なども含めた家屋は大切な個人資産です。

このため、所有者や管理者が解体撤去も含め適正に管理することが大原則です。適正な管理を怠り、建物が倒壊し、物が落下するなどで近隣の家屋や通行人に被害を及ぼした場合、その建物の所有者などは損害賠償などの管理責任を問われることになりかねませんので、適正な管理をお願いします。

空き家問題を解決するには…

「良好な維持管理」、「解体」、「活用」の方法があります。

それぞれの方法の支援制度を紹介します。

各支援制度には条件があります。詳しくは問い合わせてください。

問 申 都市整備課 建築景観係
☎(24) 5267



「良好な維持管理」

支援制度	内 容	備 考
喜多方市シルバー人材センターによる空き家サポート業務	空き家について、現状確認や除草、庭木の剪定などの管理業務を行います。	喜多方市シルバー人材センター ☎(23)1313 に問い合わせてください。

「解 体」

支援制度	内 容	備 考
老朽危険空き家等解体撤去補助金	老朽化が進み危険な状態となっている空き家を解体撤去する場合に、その解体撤去費用の一部を補助します。	補助率・金額 補助対象額の 1/3 で上限 50 万円
空き家等解体撤去促進補助金	老朽危険空き家等解体撤去補助金の対象外の空き家を解体撤去する場合に、その解体撤去費用の一部を補助します。	補助率・金額 補助対象額の 1/10 で上限 15 万円
空き家再生推進事業補助金	行政区や市内で活動する団体が、空き家解体後の跡地を公共的用途で使用する場合に、その解体撤去費用の一部を補助します。	補助率・金額 行政区：補助対象額の 9/10 で上限 150 万円 団体：補助対象額の 4/5 で上限 150 万円

「利 活 用」

支援制度	内 容	備 考
喜多方市空き家バンク	空き家の情報を市ホームページで掲載し、情報提供します。	
空き家改修支援事業補助金	空き家バンク制度を通じて取得した空き家を改修する場合に、その改修費の一部を補助します。	補助上限金額 転入者：50 万円 市民：25 万円
空き家等相続登記支援補助金	空き家の相続登記を行う場合に、その費用の一部を補助します。	補助率・金額 補助対象額の 1/2 で上限 5 万円
空き家再生推進事業補助金	行政区や市内で活動する団体が、空き家を公共的用途で使用する場合に、その改修費の一部を補助します。	補助率・金額 行政区：補助対象額の 9/10 で上限 150 万円 団体：補助対象額の 2/3 で上限 150 万円

※各補助金は、事業を行う前に申請する必要がありますので、日程に余裕をもって相談してください。



手話に触れてみませんか

問申 社会福祉課障がい福祉係 ☎(24)5276



令和2年10月1日の「喜多方市手話言語条例」施行に伴い、令和3年4月から「手話の出前講座」を実施します。
手話の普及と聴覚障がい者への理解を促進するため、講師を派遣します。
初めて手話に接する方にもわかりやすい内容となっています。ぜひ、気軽に申し込んでください。

対象 市内の団体(参加者5人以上) 小中学校、幼稚園、医療機関、福祉施設、一般企業、町内会など

内容 手話や聴覚障がいに関する内容で、受講団体の希望を伺います。

日時 原則として月曜日土曜の午前9時から午後8時までの間で開催し、1回の講習時間はおおむね1時間30分とします。

※開催希望日の2週間前まで申し込んでください。

会場 受講団体の用意してください。

その他 政治、宗教または営利を目的とした集会などは対象外です。

「手話の プレ 出前講座」開催!!



条例施行後すぐに「手話のプレ出前講座」として高郷中学校にて講座を実施しました。

高郷中学校では、令和元年度は視覚障がいについての学習を行い、令和2年度には聴覚障がいについての学習をしたいと希望が寄せられ、全校生徒の参加により「手話のプレ出前講座」を行いました。

喜多方ろうあ者会と喜多方手話サークルひまわり会の両会長が講師を担当し、まず聞こえないという障がいを持つことがどういうことかということや手話の歴史について学びました。最初は緊張していた様子でしたが、実際にあいさつの手話を習い、自分の名前を手話でどう表現するかの説明を受けたところには、緊張もほぐれ、会場中が笑い声や笑顔でいっぱいになりました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 ホストタウン交流事業

コロナ禍でも 米国との交流発展へ



本市は、姉妹都市米国ウィルソンビル市の皆さんから、2011年に発生した東日本大震災時に、義援金や励ましのメッセージをもらいました。この支援に対する感謝の気持ちと復興へと歩みを進める姿を発信するため、東京2020大会の米国を相手国とした「復興ありがとうホストタウン」に登録しました。

新たな分野での 交流発展へ

ウィルソンビル市は、これまでの中高生の相互交流による教育的交流に加え、新たに経済的な交流を促進するため、「喜多方姉妹都市諮問委員会」を設置しました。

2月9日(火)、会津喜多方国際交流協会の皆さんが、諮問委員会のメンバーとオンラインで意見交換を行い、2月17日(水)には、遠藤市長、大場教育長が、今年1月に就任したウィルソンビル市のジュリー・フィッツジュラルド市長とオンラインで初めて会談を行いました。

コロナ禍における姉妹都市交流の進め方や新たな分野での交流促進について話し合いました。

話し合いの中では、これまでの教育分野での交流に加え、それぞれの市の特産品を流通させるなど、「産業分野での交流も始めていきたい。特にウィルソンビル市のワインやブルーベリー、喜多方市の日本酒や農産物を相互に流通できれば経済的な発

展も期待できる」など、これからの交流発展に向けた積極的な意見交換となりました。

喜多方高校ボート部が感謝の気持ちを英語でスピーチ
2月21日(日)、政府が開催した米国オンラインシンポジウムに、喜多方高校ボート部の生徒3人が出演しました。

生徒は、2019年に県営荻野漕艇場で行われた米国ボート協会選手との交流を経験し、東北大会で優勝、全国大会出場へと進むことができた感謝の気持ちを英語でスピーチしました。



また、米国ボートチームの選手に東京2020大会での活躍を期待したエールを送り、再会を誓いました。

問 生涯学習課 スポーツ振興係
☎(24) 5327